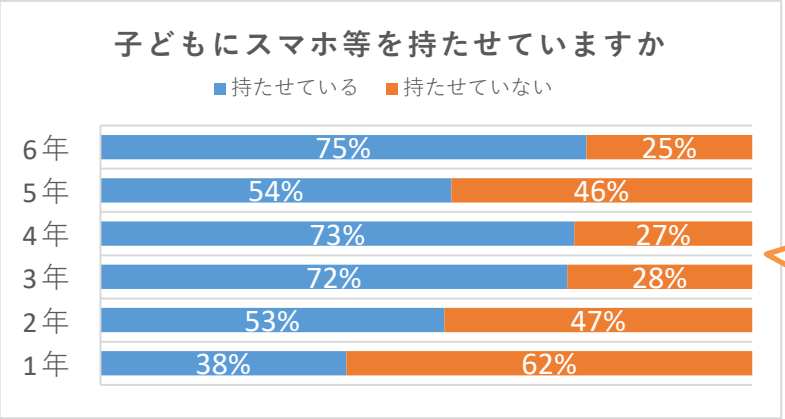
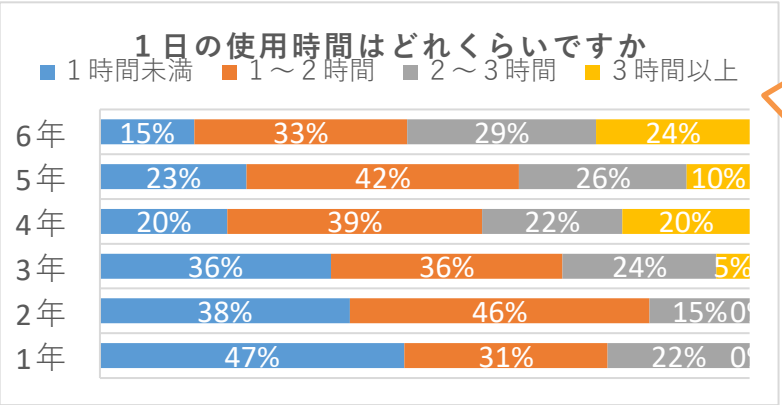
R4版　「スマホ等に関する調査」をまとめました

（12 月　保護者の皆さんを対象に実施）

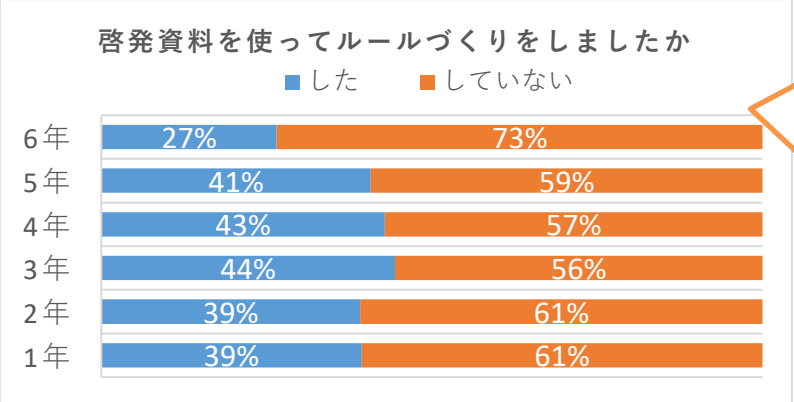


※スマホ等…スマートフォン・タブレット・パソコン・ゲーム機など電話回線や Wi-Fi でインターネットにつながるもの

ゲーム機がもっとも多く、全学年で前年度よりもスマホ等の所持率は増加。お子さんのスマホ所持率は全校で約１３％。



２時間以上使用している子が平均約３５％。３時間以上は前年度より全学年で増加傾向であり、その使用に歯止めが効きにくいことが心配されます。学習時間や家族とのコミュニケーションの時間が削られたり、就寝時刻が遅くなったりすることも心配です。



啓発資料を活用してルール作りをしたご家庭が、３９％。昨年度よりも６％減。スマホ等を使っての過ごし方は日常化しています。その扱いやルール等を守る意識をどう持たせるかが大切です。

この HP にも掲載しています。ご活用ください！

スマホ等啓発資料「親子でつくる！家族で守る！スマホ等使用の心得」

…ＰＴＡ代表者、青少年育成関係者、学校長代表者等の策定委員により、2019 年 3 月に甲賀市で制定。
「こうかスマホ等使用の心得三箇条」において、保護者が一方的にルールを決めるのではなく、親子での話し合いを通して一緒にルールをつくり、家族みんなで守ることの大切さを示したもの。

「一人一台タブレット」を導入し、個別最適な学びに有効活用しています。子どもの機器を扱うスキル等には感心することが多いです。しかし、情報活用能力を伸ばしていきたい反面、ゲーム依存、スマホ依存のような症状も心配しています。学校生活で寝不足の様子や、学習に集中できない様子、攻撃的で乱暴な会話や言葉遣いが気になる子もいます。子どもがそうした弊害に巻き込まれないように、周りの大人が手を差し伸べることが必ず必要です。使用時間が増加傾向にある本校児童の実情からも、喫緊の課題だと感じます。「取り上げる」「させない」等の方法よりも、子どもが納得し、自己抑制できる方法をぜひ取り入れてください。もはや他人ごとではありません。今こそ親子で実践してください。

（分析・文責　教頭）